

実施計画事業名		新・省エネルギー推進事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		総務部地域振興課		課長(主幹)名	布施 茂			
総合計画体系	分野	3	環境・生活					
	政策	3	環境問題への積極的な取組					
	施策	1	新エネルギーの利活用を図ります					
	関連施策							
現状と課題	新エネルギーの普及については、現在、風力発電施設が74基、76,355kwの発電量で稼働しており、太陽光発電は5,020kwの施設が完成しているが、事業ベースでの導入が進み、公共施設、民間への普及は進んでいないことが今後の課題といえる。省エネルギーの取り組みについては、事業者としての市役所として、冬季間における室内温度の引き下げ、節電等を行っているが、今後、地域全体の省エネルギーの具体的な実践が課題といえる。							
目的	本市において、新エネルギーの活用を積極的に進めるとともに、省エネを推進することで、地域社会全体で環境負荷の低減を図り、「人と地球にやさしいまちづくり」を目指す。							
施策展開の	<ul style="list-style-type: none"> ・新・省エネルギーに関する啓発 ・環境づくり会議における全市的な取組実行 ・本市の新たな再生可能エネルギーの活用に係る検討・実施 ・本市の電力消費に係る自然エネルギーの割合の向上 							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	本市電力需要における自然エネルギーの割合		%	目標	↑	↑	↑	
	説明	風力、太陽光などの自然エネルギー総発電量/本市の全ての電力需要量×100kwh(各年)		実績	89.0	89.0		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	太陽光発電システム(住宅用・事業者用)設置数		件	目標	18	21	27	
	説明	住宅用だけではなく、学校、公共施設等、本市の全ての建物を対象		実績	18	18		
	市内における電気自動車の保有台数		台	目標	↑	↑	↑	
	説明	市内に登録されている電気自動車の保有台数		実績	9	9		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	15,573	68,213	34,816		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	7,908	0	0		
	一般財源		千円	7,665	68,213	34,816		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.66	1.17	1.17		
人件費(B)		千円	11,273	8,136	8,136			
計(A+B)		千円	26,846	76,349	42,952			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 「環境都市宣言」は、平成23年3月1日に議決 平成24年度「政策調整部環境共生課」所管。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 公共施設や事業者、市民に新・省エネルギーの導入に向けた送電線の強化、規制の緩和等を国に要請し環境整備を図っていく。 次世代エネルギーパーク計画の実施設計やスマートコミュニティ構築へ向けた調査研究を進める。 再生可能エネルギー推進稚内大会(風サミット)を開催し「環境都市わっかない」を全国に発信する。 新・省エネルギー関連事業や実証研究の誘致、さらにエコ観光の創出につなげるため本市の取り組みをPRしていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--